

令和6年産主食用米の生産面積目安及び生産計画方針について

1. 府中市の令和5年産主食用米の作付実績（令和6年1月現在）

	全体		基準単収
	目安		
換算数量(kg)	目安	2,137,000	529kg/10a
	実績	2,099,386	
	差引	37,614	
面積(m ²)	目安	4,040,000	
	実績	3,968,595	
	差引	71,405	

2. 令和6年産主食用米の生産数量目安及び生産面積目安（確定値）について

府中市での令和5年産主食用米の作付実績（令和6年1月現在）は広島県から設定された生産目安を下回りました。

広島県から府中市に提示された令和6年産主食用米の生産目安（確定値）は、下記のとおりです。

生産目安

（ ）は前年

生産数量目安	生産面積目安
2,151,000 kg (2,137,000)	4,060,000 m ² (4,040,000)

※基準単収 529 kg /10 a

3. 令和6年産の生産計画方針

国の生産数量目標の配分廃止から7年目を迎え、引き続き広島県より県域の主食用米生産の目安が提示されました。

広島県農業再生協議会が示す広島県主食用米・非主食用米の生産及び需要動向では、県内の主食用米作付面積は減少を続けており、令和5年産は令和4年産から600haと大幅に減少しました。さらに、県産米の生産量は県民の米の消費量を下回った状況も続いています。

令和6年産の主食用米については、地産地消を中心とした県産米需要に着実に応えるため、県民の主食用米消費量に応じた生産を行えるよう、生産体制を維持していくことが求められていることから、可能な限り主食用米の作付面積の維持に努めるとともに、単収増加を目指します。

また、非主食用米については、広島県農業再生協議会が示す需要動向では、加工用米は令和5年産と同程度の需要が見込まれています。WCS用稲、飼料用米は県内国産飼料の安定的な確保に向けた需要拡大が想定されています。そうした動向とともに、県内、市内の需給調整に基づき、需要に応じた生産に取り組みます。